

交信の記録にはハムログが便利

The screenshot displays the Hamlog software interface. At the top, a table lists communication logs with columns for No., Call, Date, Time, His, My, Freq, Mode, Code, G-L, QSL, Name, QTH, Remarks 1, and Remarks 2. A red circle '3' highlights the 'Call' column. Below the table, a QSL card window is open, showing details for a contact with 'To Radio JH8CBH' and 'Confirming Our QSO'. A red circle '5' highlights the QSL card. To the right, a settings window for 'Call' is visible, with a red circle '4' highlighting the 'Call' field. At the bottom left, a 'Call' window is open, with a red circle '1' highlighting the 'Call' field. The bottom status bar shows '2025年 2月12日(水) 08:09 ディスク空領域:125,622M 最終更新:25/02/12 総件数:109,022件 ★ User JH8CBH ★'.

ハムログとは

JG1MOU 浜田博さんが作ったアマチュア無線家のためのフリーソフトです。このソフトは、無料で、インターネットで手に入ります。WINDOWS10 以上が推奨ですが、WINDOW のパソコンであれば、古くてもほぼ大丈夫です。スペックが低いから動作が遅いということは、ほぼ考えられません。インターネットにつなぎながらの運用は利便性が向上しますが、必須ではありません。

渡島檜山支部のメンバーはもとより、全国の大多数のアマチュア無線家が使っているため、わからないところはすぐに聞くことができます。ローカル局に頼めば、パソコンの手配から、インストールまで優しく教えてください。

① 入力ウィンドウ

交信する相手のコールサインを入力します。すると、過去の交信履歴が瞬時に表示されます。③ 周波数やモードは予め入れておきましょう。(無線機からの自動読み取りも可能です)。運用地は CODE の覧で、JCC/JCC 番号でも、郡市町村の頭目からの選択もできます。(例:JCC0104→函館 市「は」→函館)

QSLの覧にノーカード、JARL 経由、H-QSL(電子カード)などの情報を入れます。REMARKS1 および2は、交信の内容、その他の情報(リグ、移動地等)を入れます。下の黄色い帯はユーザーリストです。登録すると、一言表示することができます。また、住所、氏名なども登録でき、自動的に表示されます。

一番下の緑の帯は、自由テキストです。クラブ員などのリストを作って、メンバーでればヒットするようにすることができます。

一番上に見づらいですが、JARLmData というのがあります。最新の機能で、JARL 会員に登録されているかどうか表示されます。連動して、非会員へのカード印刷抑制機能も着いています。

② いわゆるログ部分

交信順に表示されます。画面では最近の交信が表示されています。

③ 交信履歴の部分

初めての方は、表示されませんが、過去に交信記録のある方のデータが表示されます。

④ 免許状情報(インターネットにつながっている場合)

①で交信相手のコールサインを入ると、免許状情報が、表示されます。表示されるのは免許状住所(JCC/JCG)、固定局、移動局、ライセンスです)

⑤ QSLカードのヒット

H-QSL、紙QSLを、画面上に表示させる機能です。これによって、交信のお話が弾むことがあります。紙カードの場合は、事前にスキャナなどで、電子化しておくことが必要となります。

この他にも

ハムログを使っての QSL カードの印刷、H-QSL の発行・受領、全国の市町村との交信状況(交信・QSL受領)の集計、交信履歴の検索、パソコンと連動させながら(周波数やモードの読み込み、自動音声での CQ の発信など)、私たちアマチュア無線家がほしいという機能が全て備わっています。また、最新版もインターネットからダウンロードすることができます。